

拝啓 めぐろシティカレッジ 受講者の皆様

(気軽に外出できる日を待ち望みながら綴ったエッセイです。)

いろいろなところに出かけることは、実に楽しいことです。出かけることは、視野を広げ、新たな興味を引き出し、次のさらなる学習のきっかけを作ります。インターネットの発達で、様々な場所に関する情報を入手することは簡単になりました。しかし、実際に行ってみることは、インターネットで得る情報の何倍もの情報を得ることができます。

「旅行」というと、非日常的で宿泊をとめない 多くの費用が必要なものをイメージします。実際の生活の中では、まとまった時間がとれないことや費用などの理由から「旅行」に行く機会は、少なくなってしまう。本屋の旅行ガイドコーナーには、「半日旅行」「関東日帰り」などのタイトルの本が並んでいます。その内容の多くは、有名な観光地、史跡などを効率良くめぐるものです。

ここでは、私が実践しているいつでも行ける小旅行のうちの2つを紹介します。どれも少ない時間と費用ですぐにできるものです。めぐろシティカレッジの講座では、さらに多くの小旅行のヒントを紹介します。

敬具

令和3年3月

めぐろシティカレッジ カリキュラム委員

佐藤 洋

めぐろシティカレッジ エッセイ No. 7(令和3年3月発行)

小旅行のヒント

佐藤 洋 東洋大学京北中学高等学校教諭

●路線バスの活用

路線バスが、毎日走っているのを見かけます。その中で乗ったことのない路線が多くあると思います。バスの行き先に表示されている行先で、たとえば、弦巻営業所、大岡山小学校などを見たことがありますか。行ったことがありますか。二子玉川駅周辺は、最近の再開発で大きく変化しています。二子玉川園という遊園地があったころがなつかしいです。路線バスに乗るだけで、安い値段で楽しい小旅行が展開します。

目黒通りには、多くの東急バスの路線が集中しています。全部の路線の起点（多くは目黒駅です。）から終点まで乗車してみることをお勧めします。

東 98 の番号をつけた等々力操車場～東京駅南口行きは、東急バスの路線の中で最長の路線です。バスファンの中では、人気の路線です。

全行程の距離は、15.2 km、停留所は 41 か所、全行程にかかる時間は約 1 時間 10 分です。東京都心部のオフィス街を抜けて東京タワー、目黒駅を通り、等々力操車場まで、東京都内の中心部を観察する小旅行には、適した路線です。等々力操車場は、バスの折り返し点です。バスの出発点としては、地味なところです。ここから乗る人は、あまりいません。一度、見て、乗車してみる価値はあります。

目黒駅起点の路線バスを乗りつくしたら、渋谷駅、五反田駅などの 次の起点にチャレンジします。また、各社の最長路線にチャレンジしてみることも面白いのです。インターネットで「路線バス 最長路線」と検索すると、すぐ各社の最長路線を調べることができます。最長と言っても、1 時間前後の所要時間で、気軽に乗ることができます。

さらに、停留所の時刻表を見ると東京都内なのに一日に 3 本など極端に運行本数が、少ない路線を見つけることがあります。中には、一週間に数本しか運行しない路線があります。めったに運行しない路線に乗車すれば、興味深い小旅行が展開します。

海外旅行に行った時も、この路線バス小旅行を実行すると面白いです。路線バスは、終点まで乗っても高額になることはなく、一定の時間で起点に戻ってくるので安心です。その国の人々の生活の一面を見ることができます。特にイギリスの首都ロンドンやシンガポールなどでは、2 階建てバスが走っています。特等席は、2 階建てバスの 2 階の一番前の座席です。運転手の視線で街を眺めることができます。一日中、乗りたいほど、楽しい小旅行です。

●社会科の教科書・地図帳

中学校や高等学校の地理や歴史の教科書を見てみましょう。中学校や高等学校の教科書で扱われる内容は、基礎的な事項ばかりです。みなさんにとっては、知っていることばかりだと思います。けれども、今一度、読み返してみると、知っていることでも実際に行ったことや見たことがないところが多くあるものです。ここに社会科の学習を深める小旅行のヒントがあります。

社会科の教員になりたてのころ、先輩の先生方から、「教科書に出ているところや、事件に関連する場所は、実際に行ってみろ」と教えられました。努力は、していますが、まだまだ、行っていないところが多くあります。

最近の教科書や地図帳は、カラー版で図表や写真などが多く、見ているだけでも楽しいものです。多くの正確で最新の情報がありながら安いことも魅力です。

生徒たちの興味をひくように多くの工夫がなされ、読みやすくなっています。
(教科書や教科書としての地図帳は、神保町の三省堂や大久保駅前の第一教科書で買うことができます。)

日本の各地域を重点的に調べる時は、帝国書院の中学校地図帳をお勧めします。また、世界の各地域を重点的に調べる時は、高等学校地図帳がお勧めです。

帝国書院の中学校地図帳には、歴史的分野の学習と関連づけるために「重要な歴史地名・事項」が示されています。この「重要な歴史地名・事項」を調べて、小旅行の訪問先にするのは、いかがでしょうか。

たとえば、中学校の地図帳の関東地方のページを見ると、次のような重要な歴史的地名・事項が示されています。「重要な」と強調されていることは、中学校の歴史的分野の学習をすれば、最低このぐらいは、知っておくべきところということになります。授業で扱う、扱わないは別として、日本の歴史を知る上で、実際に訪問してみたいところということになります。

山梨県では、「武田氏館跡」「甲州道中」。神奈川県では、「箱根関所跡」「石橋山古戦場」「東海道」「鎌倉幕府」「ペリー上陸地」「生麦事件」。埼玉県では、「秩父事件」「稻荷山古墳」。東京都では、「五日市憲法」「江戸幕府」「大森貝塚」。千葉県では、「加曾利貝塚」。栃木県では、「足尾銅山」「東照宮」「足利学校」「日光道中」。群馬県では、「岩宿遺跡」「中山道」が示されています。聞いたことはあると思いますが、実際に訪問したことがあると言われると、すべてではないと思います。

現地に行ってみると、由来を示す案内板や資料館などがあり、学習を深めることができます。教科書や地図帳で取り上げたところは、ぜひ訪問したいものです。この訪問を通して、関連する事項に触れることで学習を深めることができます。

神奈川県で示された「生麦事件」の起こった場所は、JR 鶴見線の国道という駅が最寄りです。鶴見線は、鶴見駅と工業地帯をつないでいます。都会のローカル線で、はるばる遠くに来たような気になります。終点の海芝浦駅は、東芝の工場に直結する駅で、駅からは、出られませんが、目の前に海が広がる風光明媚な駅です。

また、帝国書院から出版されている 今尾恵介 著『地図帳の深読み』(2019)は、帝国書院の地図帳のより興味深い読み方を紹介しています。扱われている内容は、「かつての田舎は大都会 日本の5人に1人は武蔵の人」「日本最多 七つの国にまたがる兵庫県」「こんなところにも和歌山県が 日本の飛地あれこれ」「川の流れと言葉が一致? スイスの言語分布」「そもそも「イギリス」「オランダ」って何語?」など日本や世界に関連した興味深いものが取り上げられています。ことらも合わせてお勧めします。